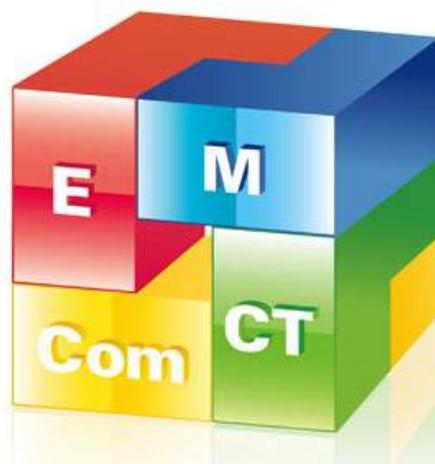


2019年3月期

第2四半期連結決算説明資料

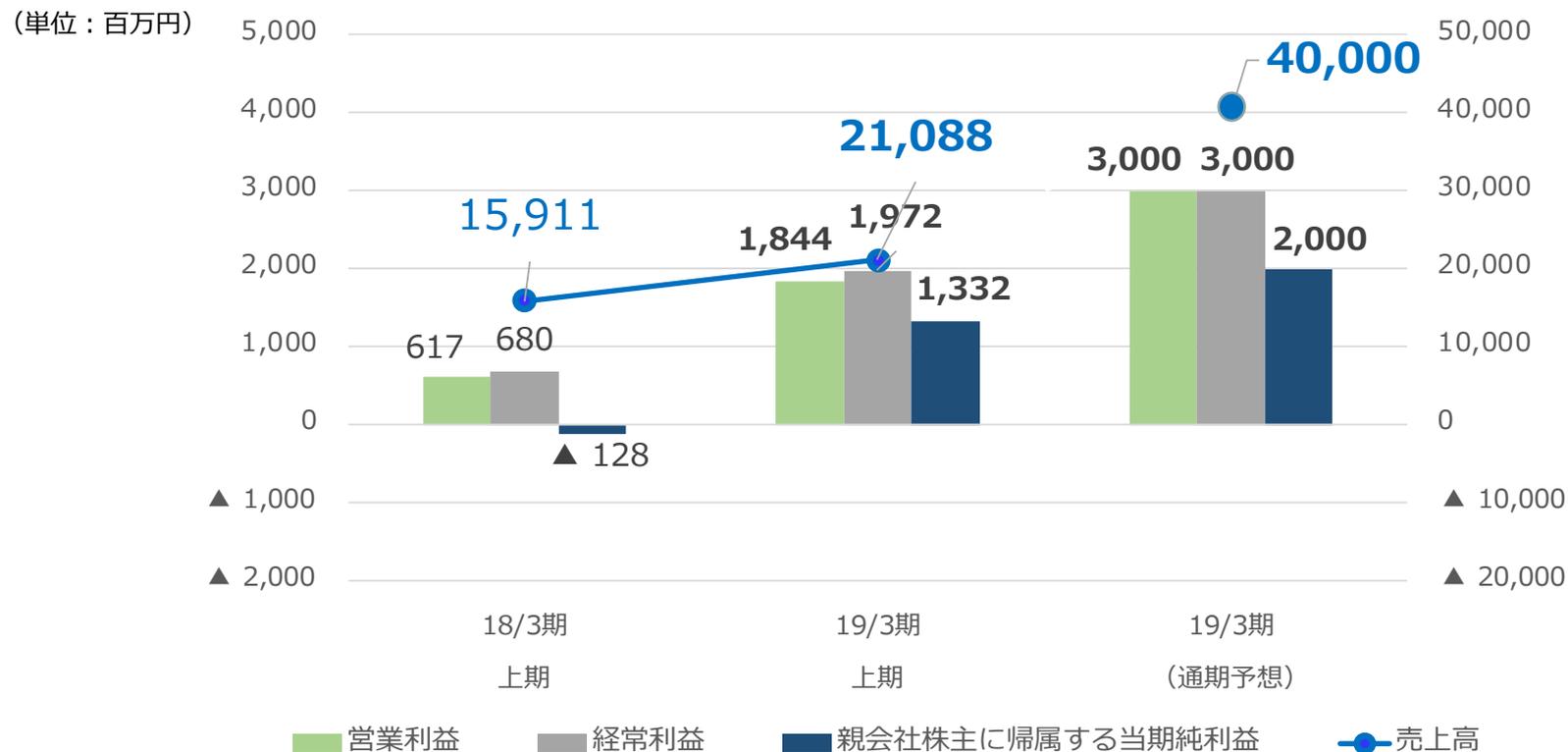
世界に通用する技術で未来を創出

Our Technologies Realize Your Dreams



2018年11月22日
オリジン電気株式会社

連結業績概要



- 19/3期上期は主にメカトロニクス事業が好調となり前年同期比で増収増益
- 19/3期通期業績予想は前回発表の数値から変更なし

19/3期重点戦略

➤ 新規分野開拓（将来への種蒔き）

- ・エレ（事） : スマエネ向け「蓄電システム」等
- ・メカ（事） : 車載・産業向け「DB」、LED・パワーデバイス向け「VSM」等
※DB:Display Bonder、VSM : Vacuum Soldering Machine
- ・ケミ（事） : 産業機器向け「放熱塗料」、情報家電・光学向け「速硬化塗料」等
- ・コンポ（事） : 車載・家電向け「小型高トルクリミッタ」等
産業機器向け「SiCモジュール」等

19/3期重点戦略

➤ ものづくり力の強化

- ・ エレ（事） : **主要製品コスト低減による競争力強化**
- ・ メカ（事） : **マルチエンジニアの育成**
- ・ ケミ（事） : **拠点の再編成**
- ・ コンポ（事） : **大量生産体制及び外部生産体制の強化**

旧本社工場跡地の現況

- 土壌交換は2017年11月21日に終了。
- 2年間に亘る地下水のモニタリング（全8回予定）のうち、
1月、4月、7月、10月の4回を完了。



連結業績

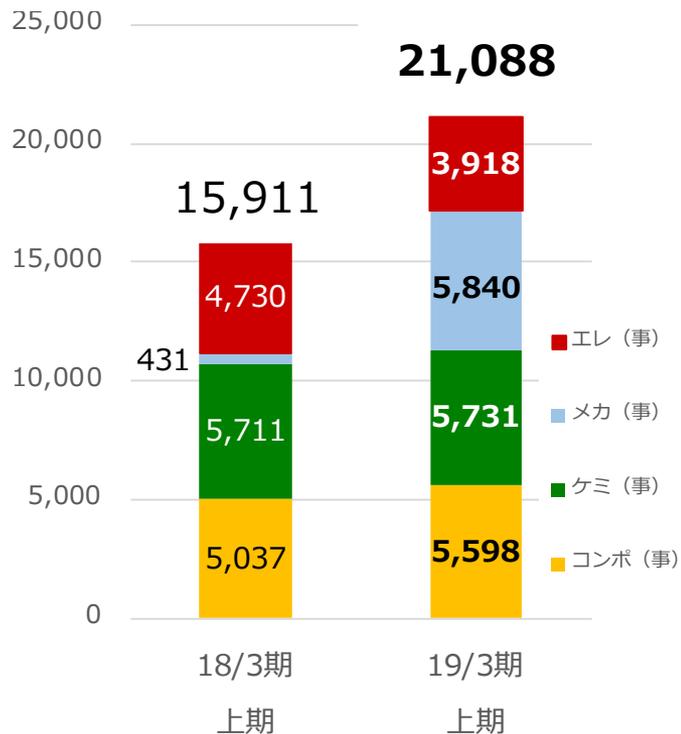
	18/3期 上期	19/3期 上期	(単位：百万円) 前年同期 増減率
売上高	15,911	21,088	32.5%
営業利益	617	1,844	198.9%
経常利益	680	1,972	190.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	▲ 128	1,322	—
		(単位：円)	
1株当たり四半期純利益	▲ 19.27	200.87	

- 前期受注済み案件のメカトロニクス事業のMDB (Mobile Display Bonder) の売上高が前年同期比大幅な増収増益に大きく寄与
- コンポーネント事業の事務機器向けも引き続き伸長し売上増に寄与

連結売上高及びセグメント利益（全社費用配賦前）

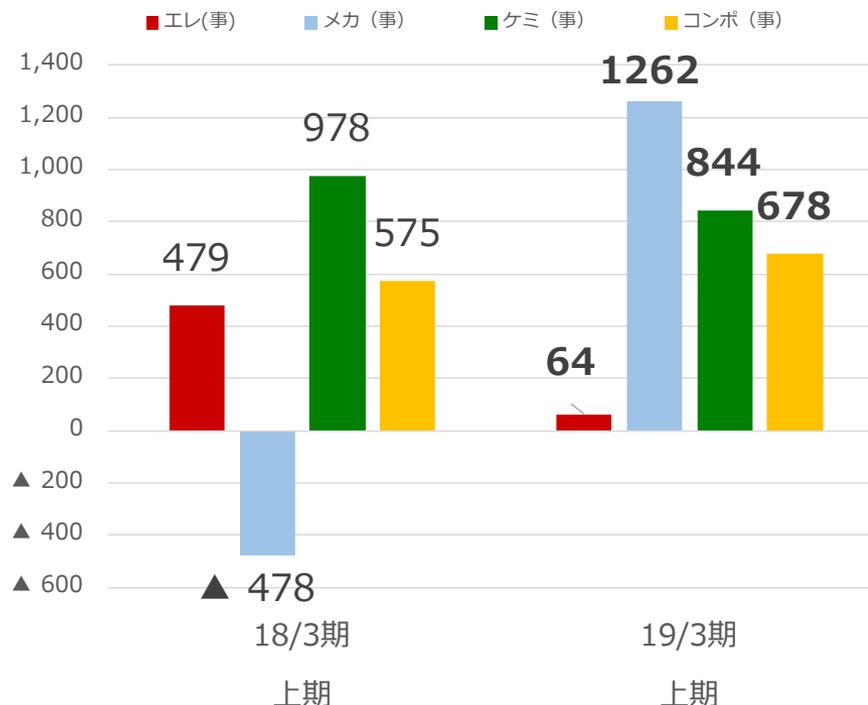
連結売上高

(単位：百万円)



セグメント利益

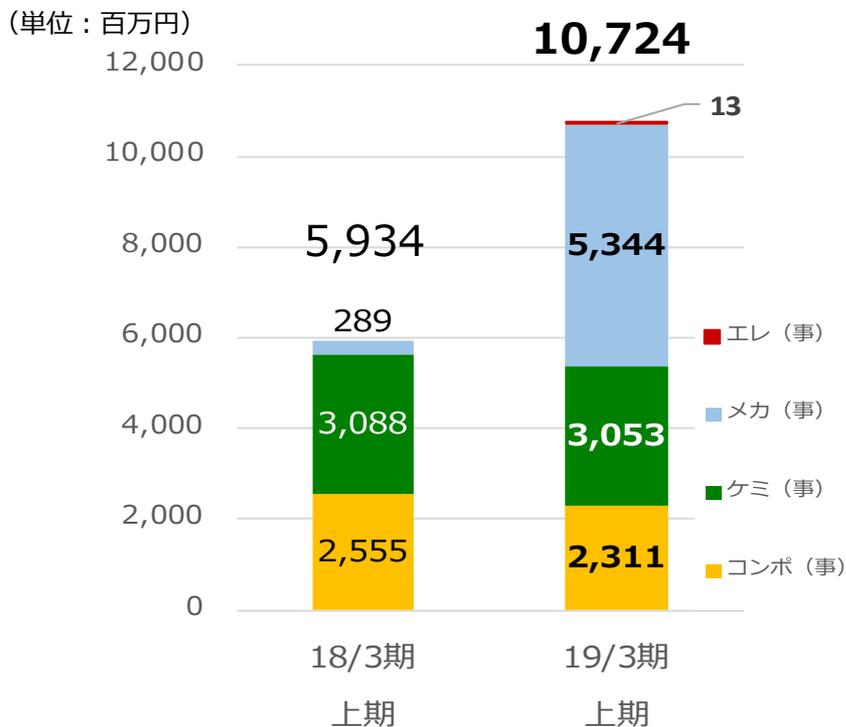
(単位：百万円)



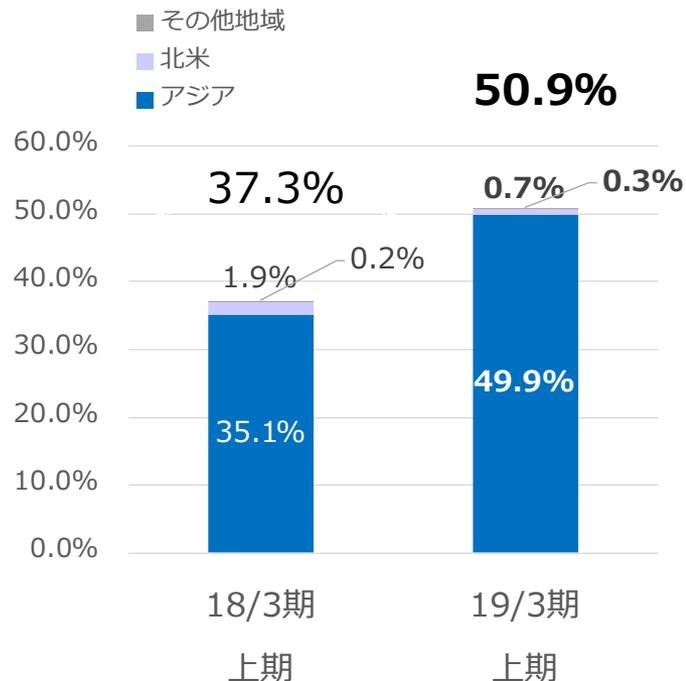
- エレ (事) : 通信設備用電源の投資抑制が影響し減収減益
- メカ (事) : MDBが大きく寄与したことにより増収増益
- ケミ (事) : 自動車分野は堅調、加えて化粧品分野のインバウンド効果もあり増収減益
- コンポ (事) : 事務機器向けが引き続き伸長したことにより増収増益

海外顧客向け連結売上高 (セグメント別・地域別)

セグメント別

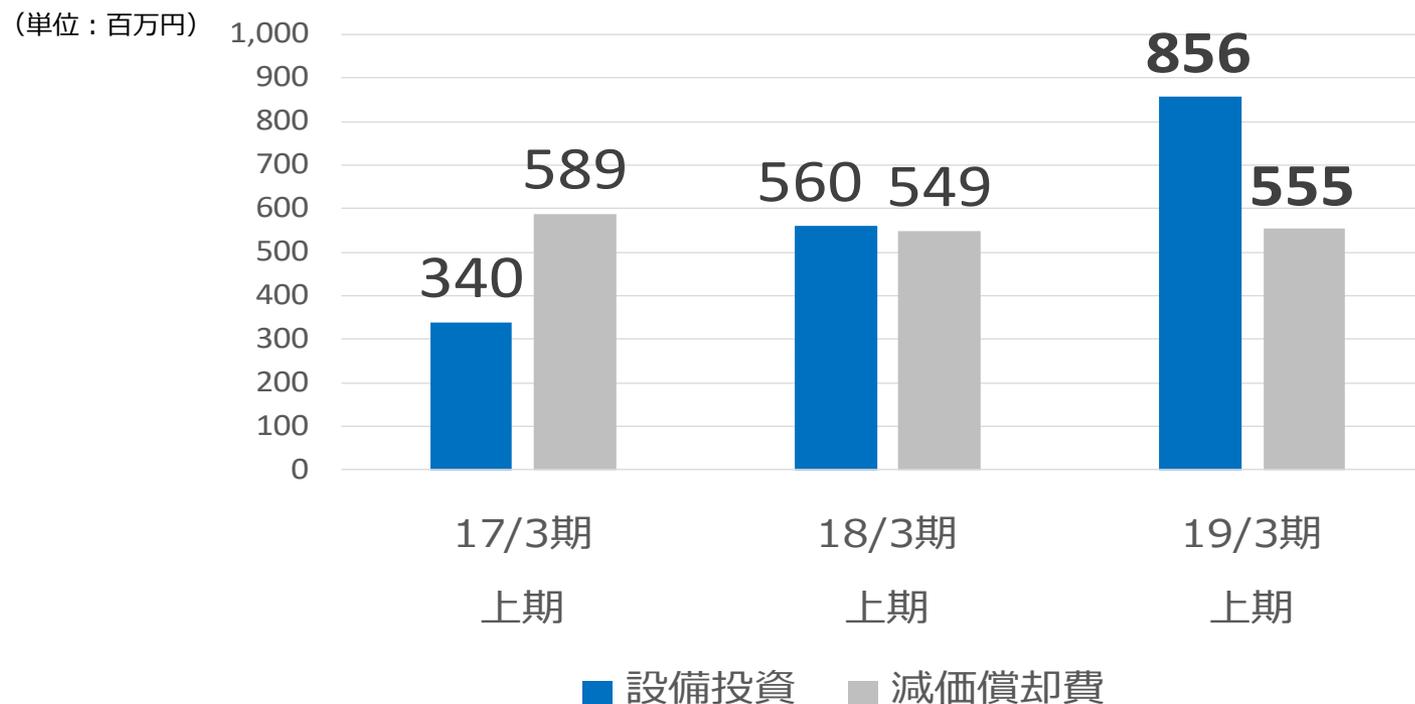


地域別



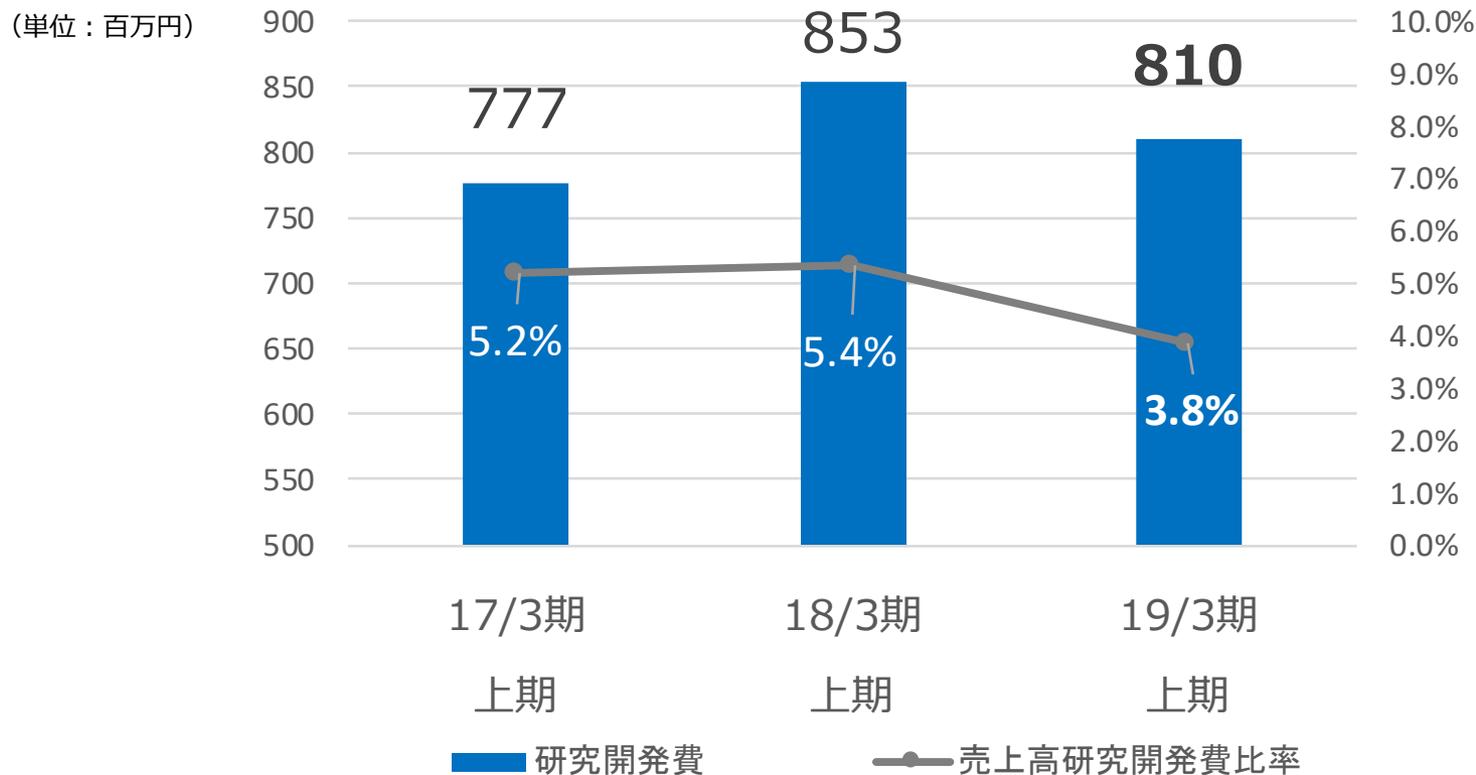
➤ メカトロンクス事業のMDB売上により、海外顧客向け売上高・地域別のアジアが大幅増加

設備投資、減価償却費



- 19/3期上期 設備投資増加の主な要因
 - ・コンポーネント事業の製造装置増強投資
 - ・旧本社工場跡地に付随する土地購入

研究開発費、売上高研究開発費比率



- 19/3期上期の研究開発費は前年同期比並みに推移
- 売上高増加に伴い、売上高研究開発費比率は1.6%低下

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	18/3期 期末	19/3期 上期末	前期末 増減額
流動資産合計	26,960	30,544	3,584
固定資産合計	18,414	18,643	228
資産合計	45,374	49,188	3,813
流動負債合計	15,869	17,453	1,584
固定負債合計	4,183	5,915	1,732
負債合計	20,052	23,369	3,316
純資産合計	25,322	25,818	496
負債純資産合計	45,374	49,188	3,813
自己資本比率	49.9%	47.5%	▲ 2.4%

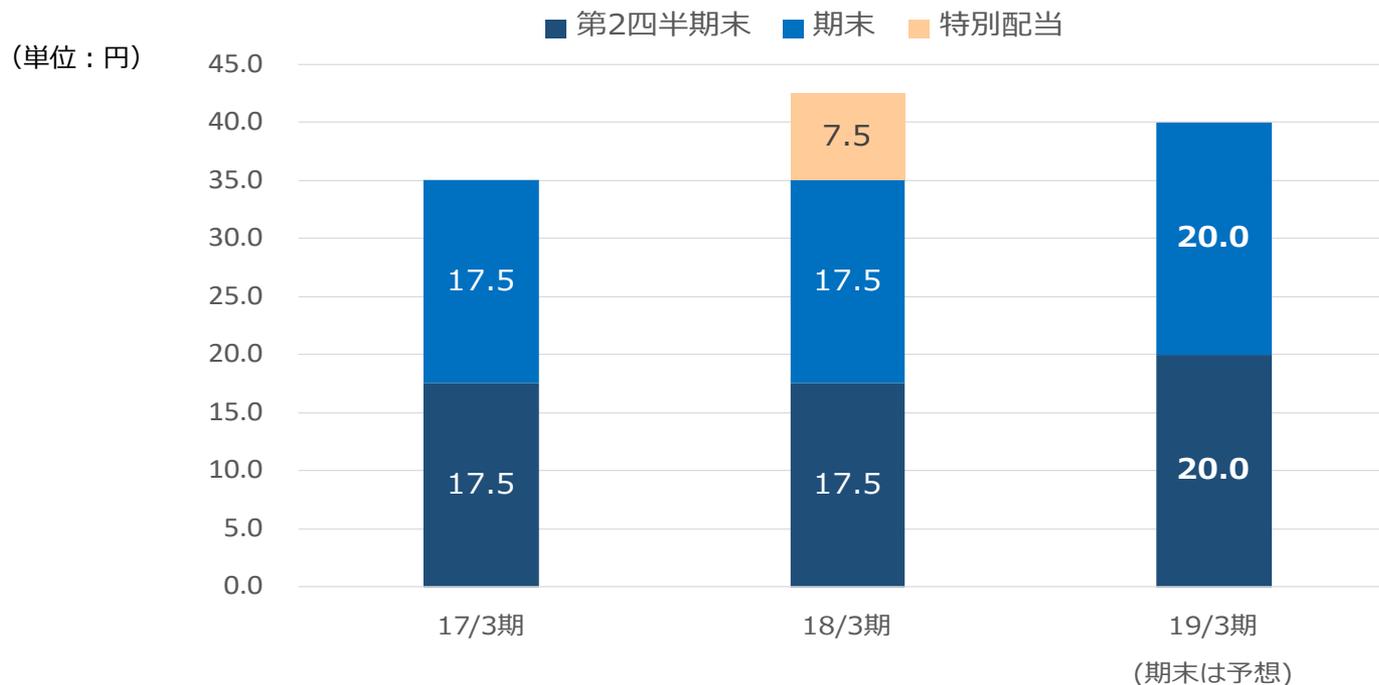
※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、18/3期期末の連結貸借対照表については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

連結キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

	18/3期 上期	19/3期 上期	前年同期 増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	576	93	▲ 482
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 824	▲ 553	270
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 478	821	1,300
現金及び現金同等物の増減額(▲減少)	▲ 744	318	1,063
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,834	5,394	560

配当の状況



- 株式併合実施 (2017年10月1日効力発生日 普通株式5株につき1株の割合)
- 17/3期 第2四半期末 普通配当 3円50銭 (株式併合後換算 17円50銭)
- 17/3期 期末 普通配当 3円50銭 (株式併合後換算 17円50銭)
- 18/3期 第2四半期末 普通配当 3円50銭 (株式併合後換算 17円50銭)
- 18/3期 期末 普通配当17円50銭、特別配当7円50銭
- 19/3期 第2四半期末 普通配当20円
- 19/3期 期末 (予想) 普通配当20円

連結業績予想

(単位：百万円)

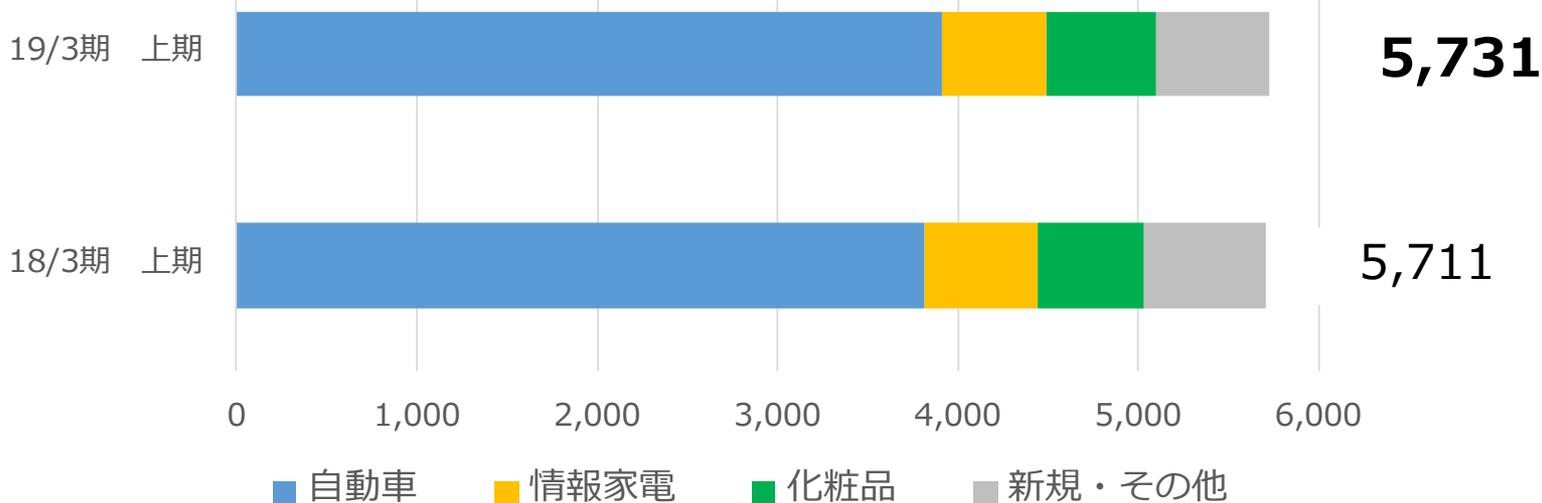
	18/3期 実績	19/3期 予想	前期 増減率
売上高	33,154	40,000	20.6%
営業利益	1,822	3,000	64.6%
経常利益	1,908	3,000	57.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	868	2,000	130.3%

※連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合あり。

ケミトロニクス事業 連結業績詳細

連結売上高

(単位：百万円)



19/3期 上期売上高概況

- 自動車向け堅調に推移
- 化粧品向け拡大

19/3期 上期重点施策進捗

- 新規分野開拓：12月展示会出展準備
- クレーム抑制：発生件数半減

19/3期 下期重点施策

- 新規分野開拓（新規用途・新機能）
 - ・放熱塗料
 - ・低摩擦塗料
 - ・防汚塗料
- インフラ、拠点の再構築推進
- 原材料高騰に対応した原価低減活動推進

主力製品採用事例：自動車部品

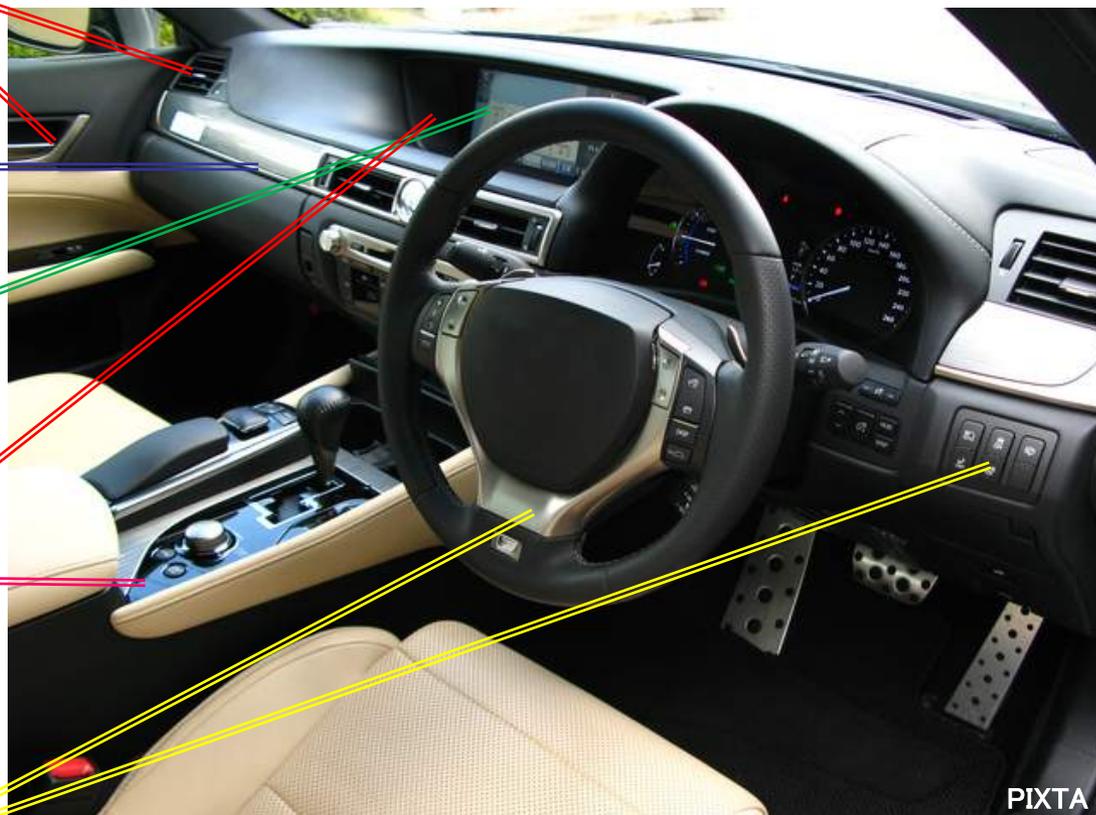
レジスター
ドアハンドル
《エコネットEY》

インパネオーナメント
《UV GZ》

ナビパネル
《UV TP》

センターコンソール
カーナビ
《エコネットEB》
《エコネットNS-2》

ステアリング加飾
スイッチ部品
《エコネットEZ》



PIXTA

新製品情報

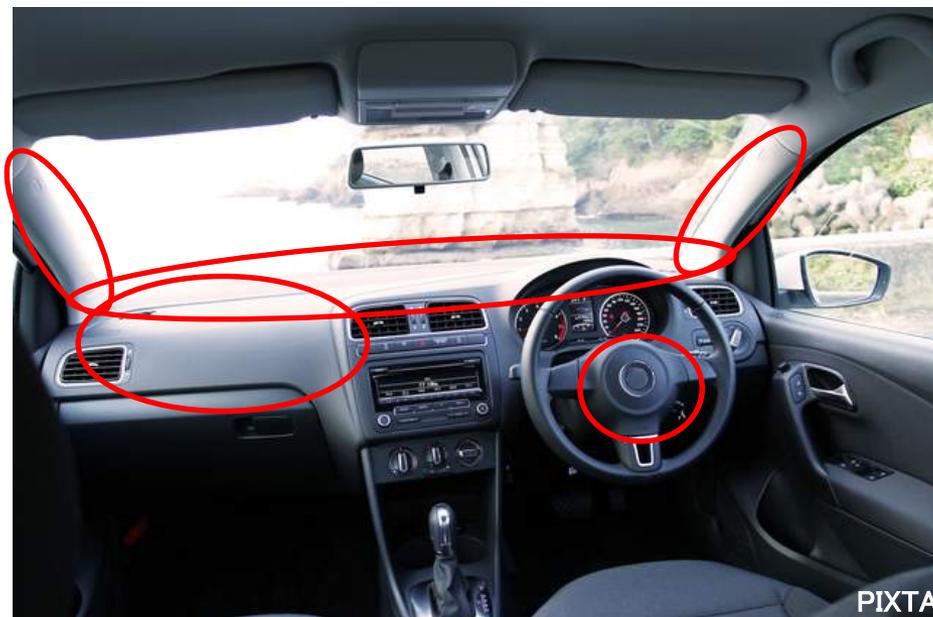
製品名：エコネットPP-300

特長

- PP、ABS、PC樹脂への良好な密着
- 日焼け止めクリームへの耐性向上
- トルエン・キシレン不使用

用途

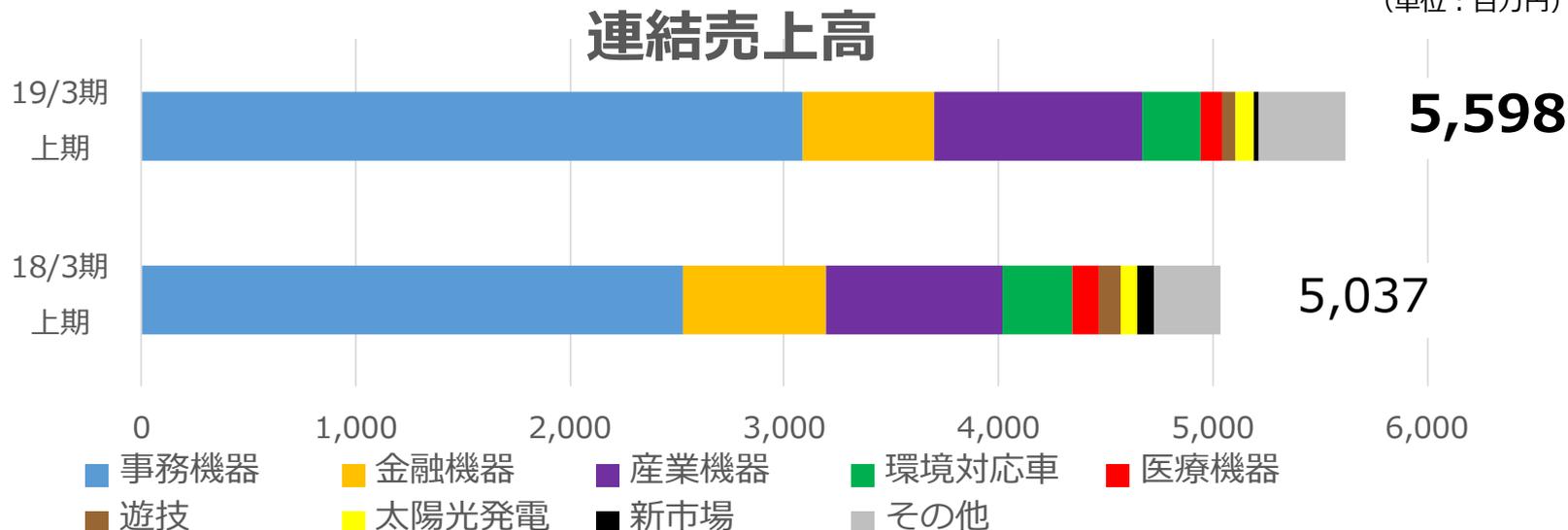
- 自動車内装部品
 - ・インストゥルメンタルパネル
 - ・エアバッグ等



 = 採用例イメージ部位

MEMO

(単位：百万円)



19/3期 上期売上高概況

- 事務機器向けは伸長し売上増に貢献
- 産業機器向けも半導体製造装置関連を中心に対前年同期比で上昇

19/3期 上期重点施策進捗

- 大量生産体制の確立は生産拠点の拡大と自動化による生産力強化を実施
- グローバル展開はOrigin Manufactures Vietnam Co.,Ltd.の立上げ

19/3期 下期重点施策

- 大量生産体制の確立
 - ・ 生産数量確保
 - ・ 計画的なコストダウンの実行
 - ・ 品質管理体制の強化と品質の確保
 - ・ 自動化促進
- グローバル展開への対応
 - ・ Origin Manufactures Vietnam Co.,Ltd.の本格稼働

新製品情報

製品名：セレクトブルクラッチ

■ 特長

- スイッチでロック、フリー、ワンウェイの3種の切替え動作が可能
- 任意の位置でガタなくロック
- スイッチ切替え時の静音化が可能



セレクトブルクラッチ外観

■ 用途

- 回転アーム、キャスターの固定
- 介護車両
- 釣具（リール）

■ 使用例



キャスター



介護車両



釣具

新製品情報

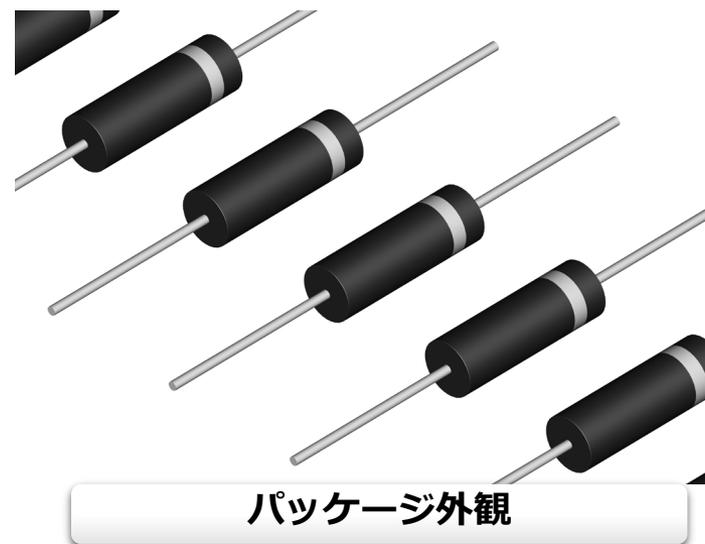
製品名：MD8CS5 (高耐圧整流ダイオード)

特長

- 高周波・高速スイッチング化
 弊社既存製品MD8CP5に対し
 逆回復時間 (trr) を約半分に超高速化
 $trr = 75 \text{ nsec} \rightarrow 40 \text{ nsec}$ (最大値)
 ※19年1月サンプル出荷予定

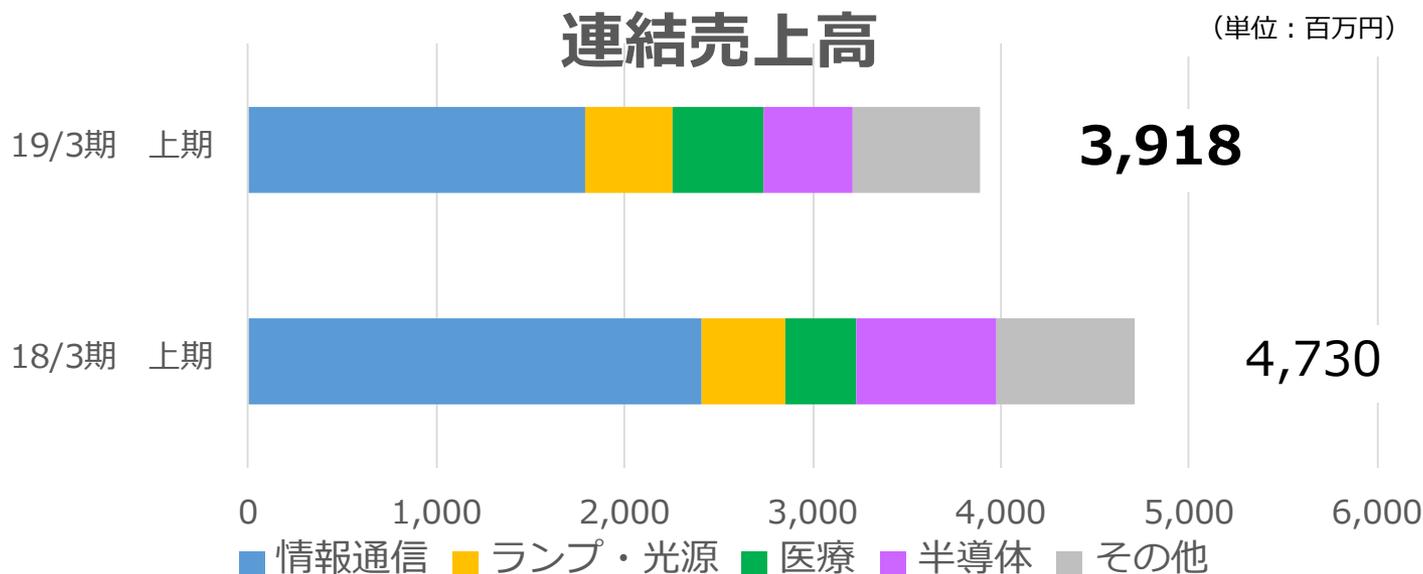
用途

- 医療用・デンタル用X線装置
- 工業用X線、電子線照射装置
- 電子顕微鏡、電子加速器、電気集塵機



MEMO

エレクトロニクス事業 連結業績詳細



19/3期 上期売上高概況

- 無線基地局用電源堅調
- 医療用高圧電源伸長
- 通信設備用電源投資抑制

19/3期 上期重点施策進捗

- 医療分野での海外展開（開発品提供）
- スマエネ向け「蓄電システム」の製品導入

19/3期 下期重点施策

- 医療分野での海外展開（製品化）
- スマエネ向け「蓄電システム」の市場開拓
- 主要製品コスト低減による競争力強化

主力販売製品

製品名：整流装置（DC48V45A）屋外仕様

特長

- ポールマウントを考慮した小型電源（電力密度：従来比約3倍）
- 外装は耐重塩害塗装仕様・放熱は屋外熱交換器を使用
- 安全で環境負荷の少ないニッケル水素電池を使用
- 停電時バックアップ時間は約20分（増設可能）
- 蓄電池寿命予測機能・蓄電池切離し機能

用途

- 移動通信基地局用整流装置
- サーバー・ルータ
- 直流48V入力の負荷装置



新製品情報

製品名：PVコンバータ（2kW密閉型）

特長

太陽光で発電した電力を、直流で動作する負荷や蓄電池に直接電力を供給でき、省エネ・コスト削減を実現します。

- 密閉：防水、防塵機能 IP65 相当
- 遠隔：Web/SNMP による遠隔監視、遠隔制御が可能
- 絶縁：高周波絶縁方式を採用

※IP65：防水防塵保護規格

※SNMP：ネットワーク経由で監視、制御するための
アプリケーション層プロトコル

用途

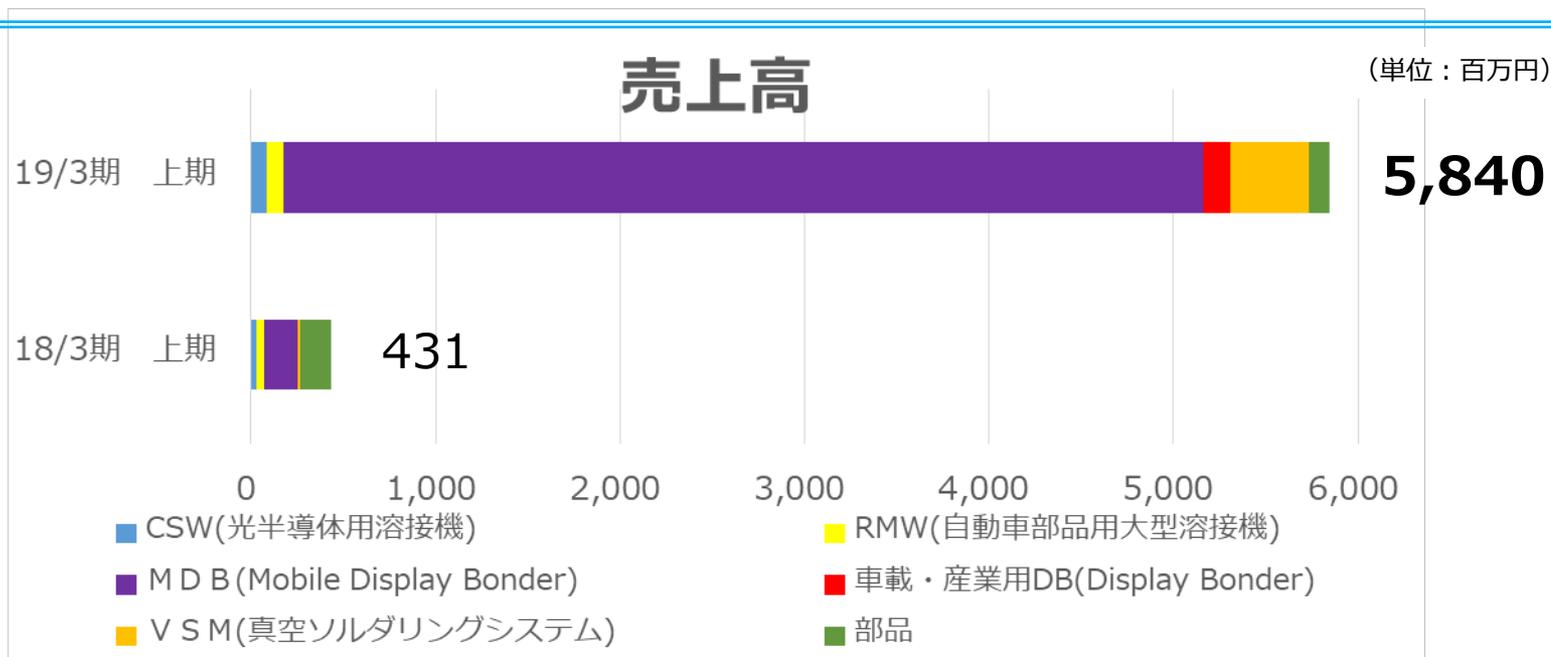
- 携帯無線基地局
- 蓄電池システム（店舗、戸建住宅）



【2kW密閉型PVコンバータ】

MEMO

メカトロニクス事業 業績詳細



19/3期 上期売上高概況

- MDB：前期受注案件が大きく寄与
- VSM：LED市場での拡販進み売上増

19/3期 上期重点施策進捗

- MDB：生産体制強化進み対応力向上
- CSW：廉価版完成間近。下期市場投入
- VSM：PD市場開拓により引合い増加
※PD: パワーデバイス

19/3期 下期重点施策

- MDB：既存案件の継続取組み
- DB：販売強化
- RMW：開発速度加速(市場対応力の向上)
- CSW：廉価版市場投入による競争力強化
- VSM：PD市場（国内・海外）での売上増
- 設計人員不足対応 = 適正人員での運用

新製品情報

製品名：車載向けディスプレイ貼り合せ装置（DB）

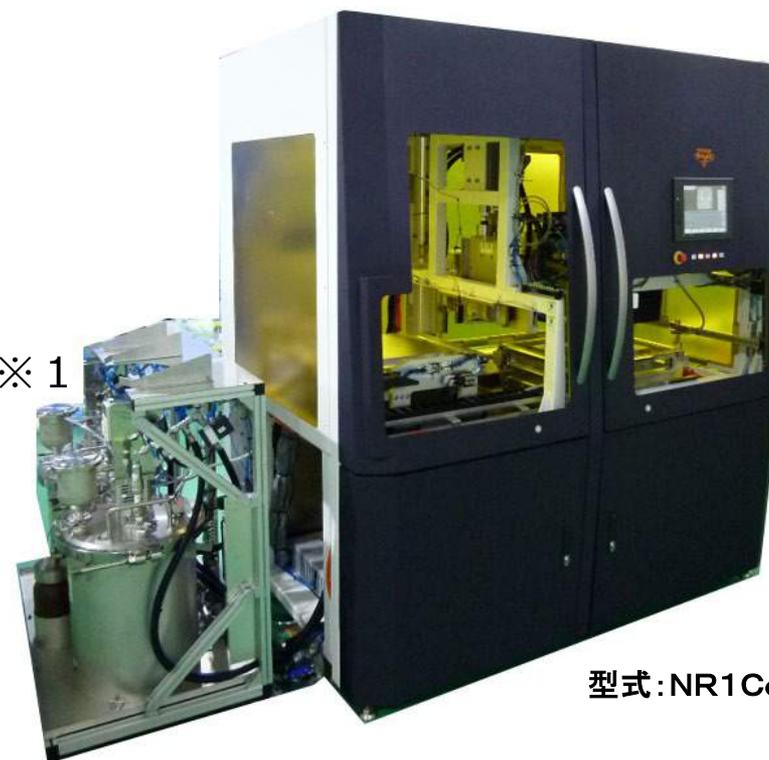
装置タイプ：NR1シリーズ

特長

- 高精度スリット塗布と真空貼り合せ
- 6.5～18.0"のパネルサイズに対応
- CG,CGS,TP,LCM,LCD等幅広いパネルに対応 ※1
- 両面塗布に対応

用途

- 車載及び産業用ディスプレイの貼り合せ



型式：NR1C0

※1 CG：カバーガラス CGS：センサー付カバーガラス TP：タッチセンサーパネル
 LCM：LCDモジュール（バックライト取付後） LCD：LCDオープンセル（バックライト取付前）

DB (Display Bonder) の用途

モバイルフォン(MDB)から車載用途(DB) への展開



車載用途から産業用・家電用途へ市場拡大



- ◇当資料はオリジン電気株式会社が作成したものであり、内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。
複写及び無断転載はご遠慮下さい。
- ◇当資料に掲載しております情報は、2019年3月期第2四半期連結決算の経営成績や財務内容等の提供を目的としておりますが、内容についていかなる保証を行うものではありません。
- ◇業績予想等は、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在していますので、実際の業績はこれらの予想数値とは異なる場合があります。
- ◇当資料は当社が現在発行している、また将来発行する株式や債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。

————— **プレス・アナリスト・機関投資家様 個別取材窓口** —————

オリジン電気株式会社

経営企画部

TEL:048-755-9422